



子どもと元妻の関係、どうしてる？ (生別の場合)

生別の場合、子どもと元妻との関係をどうすればよいか悩ましく感じる方もいるのではないのでしょうか。SFが10人いれば10通りのSFになった経緯があるので、子どもと元妻の関係に「これ」という正解があるわけではありません。これから、仮にステップファミリー（右頁参照）になったとしても、子どもと元妻との関係をどうするかという課題が残ることもあります。

別れてからしばらくは元妻のほうから会いに来ていましたが、だんだんと連絡が来なくなり、途絶えています。

子どもからは、母親のことを何も言いません。父親である自分に遠慮してなのかもしれませんが。

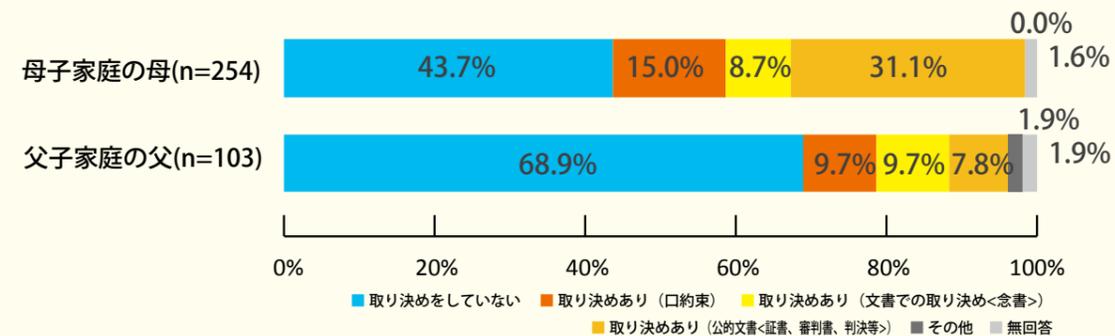
夫婦としてはダメになったから別れたけど、子どもにとっては、親であることに変わりはないから、会ってもよいと言っています。しかし、子どもたちは、どうしてかはよくわかりませんが、会いたがりません。最近、「お父さんには、新しいお母さんが必要なんじゃないの」と言い出したりするようになりました。

ひとり親家庭へのまなざし

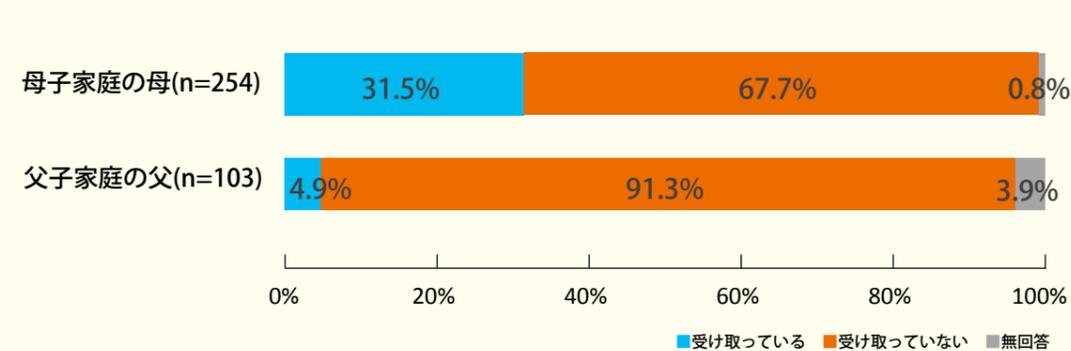
未婚、離婚、再婚の増加や、ステップファミリー（少なくともいずれか一方に子どもがいて再婚し婚姻関係になり形成される家族）など、家族のあり方や生き方は多様化してきていると言われています。

ひとり親家庭をめぐっては、「家族解体」「欠損家族」などと言われていたことがあります。今日、こうした言葉こそあまり使われなくなってきていますが、あるSFは「ひとり親の子どもは、絶対まっすぐ育たない」と言われた経験を語っていました。そして、そうした経験は「周りに話しても、どうせ理解されない」という気持ちをSFに抱かせ、孤立させることになってしまいかねません。特別な支援に限らず、まずは、ひとり親家庭を多様な家族のあり方のひとつとして捉えることから始めてみませんか。

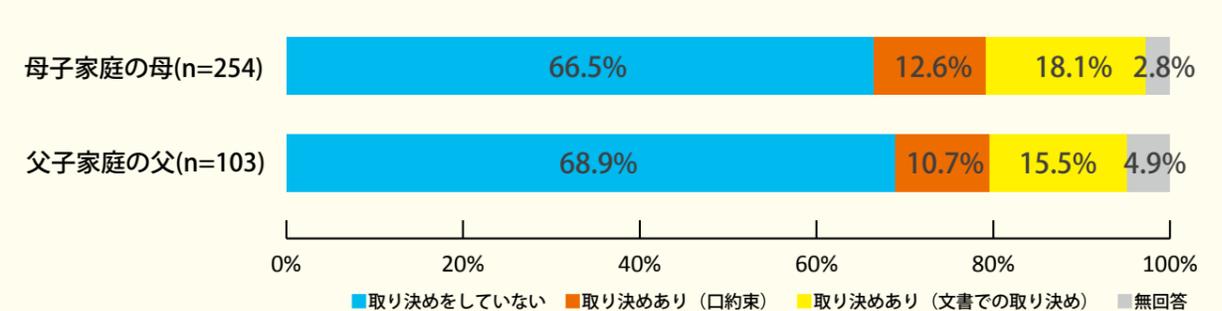
養育費の取り決め



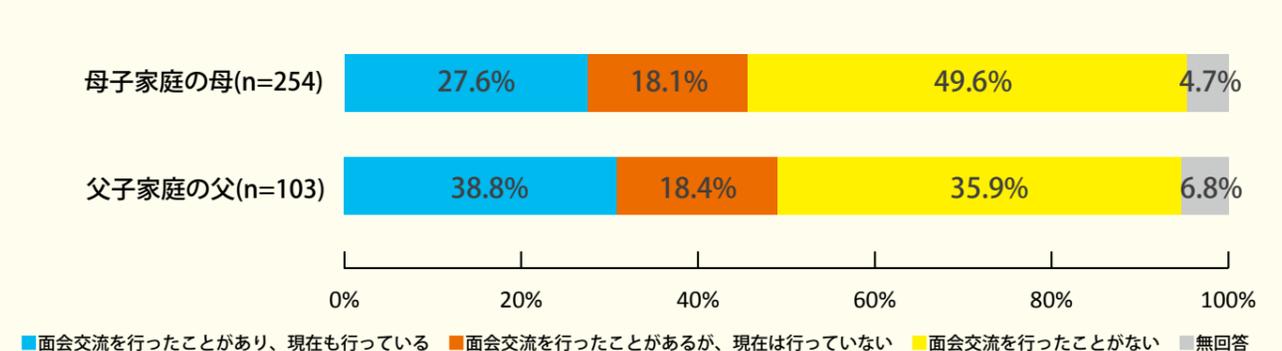
養育費を受け取っているか



面会交流の取り決め



面会交流の実施状況



出典：「川崎市ひとり親家庭生活・就労状況等実態調査」（2015年）